

Special Feature

ピート・ベスト【PETE BEST】特集 ～伝説のザ・ビートルズ初代ドラマー～



写真提供：ドキュメンタリー『ザ・ビートルズの軌跡 リヴァプールから世界へ』©SHORELINE ENTERTAINMENT

今号の巻頭特集は、ビートルズのメンバーとしてメジャーデビュー直前まで在籍していたドラマー＝ピート・ベスト特集。本名はランドルフ・ピーター・ベスト。1941年11月24日、イギリス領インド帝国マドラスにて、軍人で後にボクシングのプロモーターとなる父ジョン・ベスト二世と赤十字社で医師を志していた母モナの間に生まれる。ビートルズに在籍していたのは、1960年8月から1962年8月に解雇されるまでの2年間。解雇後は自身のリーダーバンドを結成。

1968年以降は芸能界から事実上引退していたが、1988年にザ・ピート・ベスト・バンドを結成し、それ以降はバンド活動に専念する。“5人目のビートルズ”、“ビートルズになれなかった男”等と称されるピート・ベストだが、7月5日（金）より全国順次公開されるドキュメンタリー『ザ・ビートルズの軌跡 リヴァプールから世界へ』では、メジャーデビュー直前に突然解雇された日やその過程について自ら詳細に語っている。ビートルズのメンバーの中でもイケメン&クールで一番人気があったと言われるビートルズの初代ドラマー＝ピート・ベストに迫る。（The Walker's 加瀬正之）

【The first drummer of THE BEATLES】

ビートルズのドラマーと言えば、リンゴ・スターだが、ビートルズの前身であるアマチュアバンドでジョン・レノンが結成したクオアリーメン時代からドラマーが定着しなかった。クオアリーメン時代はコリン・ハントン、シルヴァー・ビートルズ時代には、ポール・マッカートニーの弟のマイク・マッカートニー、トミー・ムーア、ジョニー・ハッチンソン、クリフ・ロバーツ、ノーマン・チャップマン等が、ドラマーとして臨時で参加した。また、ビートルズが世界ツアーを行っていた1964年6月、体調不良で入院となったリンゴ・スターに替わってジミー・ニコルが急遽ドラマーとして参加している。ピート・ベストは1960年8月に西ドイツ・ハンブルク公演のためドラマーを必要としていたビートルズに正式に加入し、解雇される1962年8月まで在籍した。このような背景から、ビートルズの初代ドラマーはピート・ベストと言えるだろう。



【CASBAH COFFEE CLUB】

ピート・ベストの母モナは、エプソン・ダービーという競馬で大穴馬券を当て、その賞金でリヴァプール郊外に屋敷を購入。その後、屋敷を改装し、1959年8月29日に地下室に会員専用クラブ「カスバ・コーヒー・クラブ」を開店した。その開店を記念して演奏したバンドのひとつがクオリーマンだった。当時のクオリーマンのメンバーはジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、ケン・ブラウン（全員ギター）。この頃にドラムセットを購入したピートは「カスバ・コーヒー・クラブ」でジョン、ポール、ジョージと仲を深めることになる。ビートルズのライヴハウスと言えば、リヴァプールに佇む「キャヴァーン・クラブ」が有名だが、ビートルズが結成されたのはこの「カスバ・コーヒー・クラブ」だった。「カスバ・コーヒー・クラブ」は現在もリヴァプールの観光名所として、当時の面影を残したまま現存されている。

【STUART SUTCLIFFE】

ピートと共に初期のビートルズを語る上で忘れてはならないのが、ビートルズの初代ベーシストであるスチュアート・サトクリフだ。リヴァプールで育ち、リヴァプール・カレッジ・オブ・アートに進学。ルックスも良く、画家としての実力も優れていた。ドキュメンタリー『ビートルズの軌跡 リヴァプールから世界へ』は、興行主アラン・ウィリアムズがスチュアートに女子トイレの修繕の仕事を頼んだ時の経緯も語られている。元々楽器は弾けなかったが、自分の絵がの高値で売れたことからジョンとポールの勧めでベースを購入し、クオリーマンに加入した。だが、1961年に2度目のハンブルク巡業後、本格的に画家の道に進むことを決意し、ビートルズを脱退。これを機にポールはベースに転向することになった。スチュアートはビートルズがデビューする半年前の1962年4月10日、脳出血により21歳の若さでこの世を去っている。

【THE SILVER BEATLES】

1960年にシルヴァー・ビートルズとして活動していた時期がある。常設のドラマーなしで演奏していたが、当時のマネージャーだったアラン・ウィリアムズがハンブルグツアーを確保した際、ドラマー問題を解決するためピート・ベストが選ばれた。ピートは当時ザ・ブラックジャックスのリーダーだったが、ポールからのアプローチでオーディションを受け、1960年8月12日にビートルズの一員となった。メンバーはジョン、ポール、ジョージ、スチュアート、ピートの5人。その後1961年にブライアン・エプスタインがマネージャーとなり、最初のレコーディング作品「マイ・ボニー」を発表。1962年元日に受けたデッカのオーディションは残念な結果となるが、EMIとの契約を獲得する。そして、デビュー・シングル「ラヴ・ミー・ドウ」のレコーディングを機に、1962年8月16日ピートは突如ビートルズから解雇された。

【LEE CURTIS AND THE ALL STARS】

ピートがビートルズから解雇された後、直ちにピートの元にロリー・ストーム & ザ・ハリケーンズから声が掛かる。皮肉にも、ピートに替わってビートルズで加入したリンゴ・スターの後釜の依頼だったが、ピートはこれを断った。別途、ビートルズのマネージャーのブライアン・エプスタインは解雇となったピートを思いやりの行動だったのか、ピートにザ・マーシービーツに加わることを勧めるが、ピートはこれも断った。結果的にピートが選んだバンドは、リー・カーティス & ザ・オール・スターズだった。ピートはバンドの中心として活躍し、イギリスとドイツをツアーするなど、多くのファンを獲得する。1963年にはマーシービート・ポールで2位に輝き、わずかな差で勝者でビートルズに次ぐ2位となった。これもまた皮肉だが、その年リー・カーティスはビートルズが契約を獲得出来なかったデッカとのレコーディング契約を獲得する。



【PETE BEST AND THE ALL STARS】～【THE PETE BEST FOUR】

1963年、ピートとオール・スターズはデッカとの契約を獲得したり・カーティスとの関係を解消し、独自のサウンドを極めて行くことに決意する。そして、ピートをリーダーとするピート・ベスト・アンド・ジ・オールスターズとして活動を始め、イギリスとドイツのツアーで成功を収める。その結果、ビートルズを不採用にしたデッカのマイク・スミスは、ピート・ベスト・アンド・ジ・オールスターズこそ彼らが探していたバンドであると判断し、見事デッカとの契約を獲得する。これを機に、ピート・ベスト・アンド・ジ・オールスターズからバンド名はザ・ピート・ベスト・フォーに変更された。ザ・ピート・ベスト・フォー名義でシングル・レコードを何枚かリリースし、英国のナンバーワン音楽番組である「レディ・ステディ・ゴー」にも出演を果たした。ビートルズが快進撃を続けていた当時、ピートも自身のリーダーバンドを率いて活躍を続けていた。

【THE PETE BEST COMBO】

1964年になると、経緯は不明だが、ザ・ピート・ベスト・フォーからザ・ピート・ベスト・コンボというバンドで活動を行っていたピート。ザ・ピート・ベスト・コンボはヨーロッパツアーを終えると、念願だったアメリカに渡る。ニューヨークでボブ・ガロのためにレコーディングを行い、後にケイメオ・レーベルでもレコーディングを行い、レコーディング後はアメリカとカナダのツアーを行なった。だがその後、1968年になると、ピートは家族の生活、家族との時間が演奏よりも重要であると考え、プロのミュージシャンとしての活動から身を引く決意をする。バンドメンバーの2人、トニー・ワディントンとウエイン・ビッカートンは、ザ・ルベッツというバンドで演奏活動を続け、後にミリオンセラーのソングライターとなり、オデッセイ・レコーディング・スタジオを開設する。ピートが再びスティックを持つまでには、20年の歳月が掛かることになる。

【THE PETE BEST BAND】

ピートが音楽活動から身を引いてから20年が経過していたが、1988年にピートは再びスティックを手にザ・ピート・ベスト・バンドを結成する。ザ・ピート・ベスト・バンドは初期のビートルズの荒々しく生々しくキドキキするようなサウンド、1960年代初期の頃の音楽を再現すべく、ピートをリーダーとしてライブ活動を開始した。メンバーは、ピートの実弟で同じドラマーのローグ・ベストやリヴァプールの音楽仲間と結成された。初公演はビートルズの聖地「キャヴァーン・クラブ」で開催され、この模様を収録したライブ・アルバムでデビューを果たし、1995年のワールドツアーで初来日を果たしている。ノスタルジーに浸り、ビートルズの最高の年である1960年から1962年までの音楽をファンに楽しんでもらいたいというコンセプトを元に活動をしている。ここ数年活動をストップしているようだが、ぜひ再来日を期待したい！

【PETE BEST in JAPAN】

ザ・ピート・ベスト・バンドは、1995年のワールドツアーで初来日を果たしているが、直近では2013年4月27日から29日までの3日間東京・丸の内の「コットンクラブ」で、結成25周年を祝した来日公演として6ステージを行っている。メンバーはPete Best (ds), Roag Best (ds), Philip Melia (g), Paul Parry (b), Tony Flynn (g)の5人。「ロング・トール・サリー」や「ロック・アンド・ロール・ミュージック」「ベサメ・ムーチョ」「マイ・ボニー」「ワン・アフター・909」「P.S. アイ・ラヴ・ユー」「アイ・ソー・ハー・スタンディング・ゼア」「クライ・フォー・ア・シャドウ」等、ビートルズ時代のレパトリーその他、ザ・ピート・ベスト・バンドのオリジナル曲も演奏された。ピートは実弟ローグと並んでドラムに専念していたが、初期のビートルズの名インスト・ナンバー「クライ・フォー・ア・シャドウ」はビートルズ・ファンには堪らなかっただろう。

ドキュメンタリー『ビートルズの軌跡 リヴァプールから世界へ』

7月5日（金）よりヒューマントラストシネマ有楽町、池袋シネマ・ロサ、アップリンク吉祥寺
ほか全国順次公開

■ あらすじ

伝説のロックバンド「ザ・ビートルズ」。数多くの名曲を生み出し熱狂的なファンを生んだ彼らも、メジャーデビュー前はリヴァプールで演奏する小さなコピーバンドだった。やがて初代マネージャーとなるアラン・ウィリアムズとの出会い、ハンブルクでの演奏活動、バンドメンバーの脱退と加入を経て、1962年「ラヴ・ミー・ドウ」でのメジャーデビュー以降、20世紀を代表するグループへと駆け上っていく。元ドラマー、ピート・ベストらメジャーデビュー前の「ザ・ビートルズ」の姿を知る関係者のインタビューと、当時のTVパフォーマンス映像を交えながら、知る人ぞ知る初期ザ・ビートルズの在りし日を回想する。

『ザ・ビートルズの軌跡 リヴァプールから世界へ』

監督・脚本・製作：ポブ・カラザーズ

出演：アラン・ウィリアムズ、ピート・ベスト

アンディ・ホワイト、トニー・ブラムウェル

ノーマン・スミス、アラン・クレイン

字幕監修：藤本国彦

原題：“The Beatles: Up Close and Personal”

配給：NEGA

2008年 / イギリス / 72分 / カラー / 16:9 /

ステレオ / 英語

©SHORELINE ENTERTAINMENT

公式サイト：<https://beatles-filmselection.com>

公式 X：<https://twitter.com/beatlesfilm>

公式 Facebook：facebook.com/beatlesfilmselection



【THE BEATLES & PETE BEST】

奇しくも、5月8日よりDisney+にて、50年の時を経て幻のドキュメンタリー映画『ザ・ビートルズ：Let It Be』が独占配信され、5月10日から映画『ジョン・レノン 失われた週末』が全国公開された。

ビートルズのメンバー、ジョン・レノンは1980年12月8日に40歳で、ジョージ・ハリスンは2001年11月29日に58歳でこの世を去ったが、ポール・マッカートニーとリンゴ・スターは現役で活躍し続けている。

ポール・マッカートニーは今年6月18日に82歳、リンゴ・スターは7月7日に84歳、そして、ピート・ベストは11月24日に83歳を迎える。

ビートルズの数々の名盤と数々の名曲は永遠に愛され続けていくはずだが、ビートルズの初代ドラマーを担ったピート・ベストというアーティストの存在も忘れてはならないで欲しい。

【Official PETE BEST Website】

<https://www.petebest.com/>